

第70回京都府高等学校バスケットボール新人大会 兼
第33回近畿高等学校バスケットボール新人大会 京都府予選 市部代表決定戦

新型コロナウイルス対策ガイドライン

京都府高等学校体育連盟バスケットボール専門部

本専門部では、内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室、JBA、全国及び京都府高等学校体育連盟から発出された新型コロナウイルス感染対策関連の文書を参考に、以下のように感染防止対策を講じます。

また、JBAバスケットボール事業・活動ガイドライン第5版（2022年5月12日作成）が公開されています。各チーム御参照くださいますようお願いいたします。

▼「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン 第5版」（PDFファイル）

[JBA Guideline 5th 20220603.pdf \(japanbasketball.jp\)](#)

1 大会運営全般について

市部代表決定戦について、ベンチメンバー外の選手や保護者等、各チーム20名以下の観戦を可とする。報道関係者等は大会本部の許可を得るものとし、スカウティングについては各校2名まで可とする（様式2を持参のこと）

府大会については、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、再度判断する。

チーム及び選手の参加可否については、所属校長が判断する。

2 会場運営について

- (1) 可能な限り試合間にゆとりを持たせ、選手・チーム関係者の入れ替えや消毒時間を確保する。ハーフアップありとするが、3密を避けるなど感染防止を心がける。審判、大会役員、TO・CKなど生徒補助員は最小限の人数で行う。TOの担当は大会スケジュール通りとする。
- (2) 会場はこまめに換気をする。
- (3) 各試合終了後、試合が終わったチームは、それぞれ自ベンチ及びその周辺の消毒を行い、速やかに退場する。TO・CKの椅子・用具等の消毒は、担当したチームが業務終了後に行う。必要に応じて手袋を使用する。消毒に必要な物品は本専門部が準備する。
- (4) 施設内（出入り口、トイレ、ウイルスが付着した可能性のある場所等）については、大会役員で消毒を行う。トイレ・手洗い所等に消毒液を準備し、手指消毒を喚起する。
- (5) ベンチ等は隣席との身体的距離を確保できるように設置し、ロビー等でもグループ間は一席（立席の場合1m）空ける。

3 参加者について

- (1) 参加者は、体調に留意しながらマスクを着脱する。【参照：JBAガイドライン第5版P6】

本大会では感染症予防対策の観点から、不織布性のもの、または熱中症・脱水症予防の観点から布・ウレタン製のものも着用可とします。チームで統一した単色無地のものとし、チームのロゴ・メーカー表示などのないものを基本とします。プレー中以外に着用するマスクは、感染症予防対策の観点から不織布製のものを推奨します。

- (2) 大声を出しての応援やアップは控える。握手、ハイタッチなどの接触は避ける
- (3) その他ソーシャルディスタンスの確保、手洗いの励行など、基本的な衛生エチケットを遵守するこ

と。ごみの持ち帰りを徹底し、特に使用後のマスク等を会場のゴミ箱に捨てたりしないこと。マスクを外すときは、会話をしないように心がける。特に更衣室は3つの密が揃うため感染リスクが比較的高くなるので、密にならないよう留意するとともに、マスク着用、会話を控え速やかに行動すること。

(4) 水分補給を行うときは、各自のペットボトルや使い捨て紙コップなどを用意し、飲み回し等を行わないようにすること。

(5) 以下の書類により参加者の行動記録の把握する

①「健康チェックシート」(様式1) 参加者全員 **チーム関係は提出不要**

大会前2週間における体温及び健康状態他必要事項を記入する(顧問がチーム関係者の健康状態を把握するために活用)。

他団体の協力審判、チーム引率のない審判や大会役員、メディア関係者等については、審判委員長もしくは専門委員長にデータを送信するか、会場主任が当日携帯で写真をとるなどしてデータで保存してもよい。大会参加最終日に受付に提出する。

②「健康チェック一覧表」(様式2) **チーム関係のみ 要提出**

顧問が必要事項を記入し、各チームで当日体温を検温、記入の上、**大会本部**に提出する。集合や解散時間については、ウォーミングアップに必要な時間等を考慮し、運営に支障がないことを念頭におき**各チームで設定する**。遅れてくる生徒がいるときは、その旨を大会役員に連絡し、到着次第、顧問が生徒とともに大会役員に報告してから入館させる。

個人情報大会本部に、また状況によっては保健所等に提出する可能性があることは、事前に保護者から同意を取っておくこと。

③観客者一覧(様式3) **ベンチエントリー外の選手・保護者等(各チーム20名以下) 要提出**

観客入場責任者が必要事項を記入し**受付**に提出、観客は番号順にIDカードを着用の上整列、大会役員が入館時体温を記録して回収する。遅れてくる人がいるときは、観客入場責任者が立ち合い、**受付**に報告する。**受付時間は試合開始予定時間の20分前、前試合の観客が退出してから入館**、試合終了後は座席を消毒し(用具は受付で受渡か応援席に設置)速やかに退館する。

IDカードは(様式4)を利用して各チームで作成、ホルダーについても各チームで準備する。

観覧場所については各会場の指示に従い、IDホルダーは会場内では常に装着しておく。保護者の自家用車での来校禁止、ごみの持ち帰り等観戦マナーについては各チームで周知徹底する。

(6) 体調不良者への対応について

入館時の検温について、非接触式体温計で2度計測しても37.5℃以上の場合は、電子体温計を用いてわきの下で検温し、それでも、37.5℃以上の場合は、体調不良者と判断します。前日までの活動状況によって、該当者のチームは参加の辞退をお願いする場合があります。

新型コロナウイルス感染が疑われる体調不良者の対応については、JBAガイドライン第5版 P36~を御参照ください。「体調不良者との接触」には試合中も含まれます。場合によっては勝ちチームに出場辞退をしていただくこともあります。**濃厚接触者の定義及びバスケットボールにおける特定例については、JBAガイドライン第5版 P14を参照してください。**

4 その他

(1) 感染拡大やチーム参加状況により、ガイドライン変更や大会中止とすることがあります。

(2) 顧問の先生は、選手の練習不足等の影響による傷害の防止に努めてください。

(3) 来場される学校関係者(管理職に限る)も健康チェック一覧表(様式2)あるいは観客者一覧(様式3)への記載が必要です。

(4) 記載内容は、各校顧問から学校関係者、生徒や保護者に連絡し遵守するようにしてください。

(5) 試合4日前~試合当日において、感染または感染の疑いがある場合は、大会感染対策責任者(競技委員長(京都市立紫野高等学校 岩崎健太)、大会当日は会場主任)に御報告下さい。